

# NO! リニア

No. 3 2  
2010年10月21日  
JR東海労働組合  
リニア反対プロジェクト

## 費用対効果だけでルートを決めることではない！ やる価値があるのかも含め、ルート、走行方式を決定する！

### 第9回中央新幹線小委員会が開催される

10月20日、国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会は、第9回中央新幹線小委員会を開催しました。

審議の冒頭、10月13日に各マスコミが「南アルプスを貫くCルートで決着する公算が高まった」と報じたことについて、家田委員長から「あたかも審議会としてルートや走行方式が決定しているかのような報道がされている」「これから審議会として議論し決定していくことである」として、国土交通省に経緯をたしました。国土交通省は「今後は関係者に語気を気をつけるよう徹底する」と謝罪しました。

今回の審議では国土交通省から①費用対効果分析等の調査結果について、②環境調査結果について報告がありました。報告内容は、リニア方式で南アルプスを貫くCルートが諏訪・伊那谷回りのBルートよりも費用対効果や経済波及効果で「高い」とするものでした。

報告を受けた後、各委員から質疑がありました。家田委員長から「費用対効果だけでルートを決めることではない」「国家、国民にとって何が良いのか、やる価値があるのかも含め、ルート、走行方式を決定する」「今後は費用が正しいのか」「コストの再確認を行う」としました。また、環境調査報告については「粗すぎる資料で、これを見てどちらが良いかの判断はできない」とし、審議を終えました。

今回の審議について、多くのマスコミは「Cルートで事実上決着」などと、ルートが決定したかのような報道をしています。しかしルートが決定された訳ではありません。審議の中で多くの意見があることをみても、まだまだ議論が必要なのです。

今回の審議について、多くのマスコミは「Cルートで事実上決着」などと、ルートが決定したかのような報道をしています。しかしルートが決定された訳ではありません。審議の中で多くの意見があることをみても、まだまだ議論が必要なのです。

経路	所要時間	費用	費用対効果
直線 (Cルート)	67分	¥5.5兆円	1.51倍
迂回 (Bルート)	74分	¥6.0兆円	1.24倍

国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会は、10月20日、中央新幹線小委員会を開催し、南アルプスを貫くCルートと、諏訪・伊那谷回りのBルートの費用対効果について報告を受けた。CルートはBルートに比べて所要時間が約7分短縮され、費用対効果は約1.51倍と試算された。一方、Bルートは所要時間が約15分短縮され、費用対効果は約1.24倍と試算された。

あたかも「Cルートで決着」と報道するのはなぜ?